

平成 14 年 6 月 21 日

会社名 黒崎播磨株式会社

会社名 九州耐火煉瓦株式会社

代表者名 取締役社長 加藤 弘

代表者名 取締役社長 餅原 正親

問合せ先 取締役総務人事部長 小川 修三

問合せ先 専務取締役 山本 三郎

TEL (093) 622 - 7224

TEL (0869) 64-3321

両社によるアライアンスについて（お知らせ）

黒崎播磨株式会社は、平成 14 年 5 月 23 日に九州耐火煉瓦株式会社の株式の 52.6%を取得いたしました。

その後、両社はアライアンスについての検討を行い、具体的な内容について合意いたしましたので、

下記の通りお知らせします。

記

1. アライアンスの概要

両社は鉄鋼向け耐火物分野において生産・開発・営業など全面的な協力関係を構築し、以下のようなアライアンス効果の実現により両社の抜本的な競争力強化を目指します。

1. 生産拠点の統廃合による固定費の削減
2. 技術・開発部門を中心としたシナジー効果の発現
3. 営業等の間接部門の効率化

なお、その他の事業分野についても今後検討の上、順次実行してまいります。

2. 具体的内容

1. 国内の生産拠点の統廃合

両社で重複する生産品種について、お客様のニーズや効率性等を勘案の上、生産拠点の集約を行います。その主なものは以下の通りです。

1) マグネシア・カーボン煉瓦の生産拠点は、黒崎播磨（株）の八幡工場を休止し、九州耐火煉瓦（株）の本社工場(備前)、黒崎播磨（株）の他 2 工場(※1)、及び両社の中国出資会社(※2)に集約します。

・塩基性不定形耐火物の生産拠点は、黒崎播磨（株）の 3 工場(※3)のうち当該ラインを休止し、九州耐火煉瓦（株）本社工場(備前)に集約します。

なお、連鑄用のアルミナ・グラファイトチューブ（ロングノズル、浸漬ノズル等）は、両社での生産を継続いたします。

(※1)千葉工場、清水工場

(※2)黒崎播磨（株）：無錫黒崎蘇嘉耐火材料有限公司、丹東播磨耐火材料有限公司

九州耐火煉瓦（株）：営口九州耐火材料有限公司

(※3)八幡工場、高砂工場、木更津工場

2. 技術・開発のシナジー効果

両社の持つ技術力の融合によるシナジー効果の最大発揮を狙います。

3. 営業の統合

両社の営業機能・ノウハウを黒崎播磨（株）に一元化するとともに、両社の営業拠点統合と要員の効率的活用をはかることにより、より一層お客様のニーズに的確におこたえします。

3. 人員合理化数

両社合わせての合理化数は、社員・協力会社を含めて約 150 名程度です。

4. 今後のスケジュール

生産拠点の統廃合は、準備が整い次第、順次実行してまいります。

開発、営業の統合は、平成 14 年 10 月を目処に実施いたします。

以 上